

(別添1)

No.	16
策定年月	令和4年6月
見直し年月	令和5年6月

水田農業高収益化推進計画

長野県

1. 水田において高収益作物・子実用とうもろこしの導入を図る目的

・県内の水田農業の現状

主食用米については、需要減少が続く中、需要に応じた生産を行うため、関係機関と連携し、生産数量目安値に基づく主食用米の適正生産を推進し、年間300ha程度を着実に減少させてきた。近年は、飼料用米及び新市場開拓用米の拡大が顕著であるものの、転換作物として中心となる麦・大豆についてはそれぞれ2,800ha、2,000ha程度と伸び悩んでいるため、長野県麦・大豆生産性向上計画に基づいて生産振興を図っている。

また、稲作農家の経営安定を図るため、水稲から園芸品目など需要が見込め、定着性の高い高収益作物への転換による複合化を進めている。

・高収益作物・子実用とうもろこしの生産状況、推進に関するこれまでの取組内容・課題

高収益作物については、水田において約2,100haの作付けとなっている。長野県野菜基本計画等において、土地利用型経営の農業法人等を新たな担い手と位置づけ、排水対策等の技術や品目等の検討を行いつつ、伴走的な支援を行っているものの、排水不良による低単収や新たな機械装備の必要性、土地利用型作物に比べて集約的で人手がかかる等の課題がある。

また、子実用とうもろこしについては、配合飼料価格高騰等により国産濃厚飼料として注目されているが、県内でごく限られた生産となっている。排水対策の徹底による収量及び品質の確保のほか、耕畜連携による生産体制の構築、乾燥貯蔵場所の確保等が課題となっている。

・高収益作物・子実用とうもろこしの新たな取組の必要性・方向性

本県は、変化に富んだ気象や地形を生かし、高いシェアを誇る葉物野菜や果樹など、全国の農畜産物の総合的な供給産地としての役割を果たしており、園芸作物への期待も大きい。

今後も主食用米の需要量は減少が見込まれることから、引き続き需要に応じた主食用米の生産を行いつつ、稲作農家の経営安定を図るため、水稲から園芸品目など需要の見込める高収益作物への転換による複合化を進めるとともに、園芸品目等の農業者が水田の受け手として高収益作物栽培に取り組むなど、地域の収益力を向上させる必要がある。また、輸入飼料に依存しすぎない畜産経営の確立の観点から、従来から取り組んでいるイネWCSや飼料用米に加え、子実用とうもろこしの生産・利用についても実施を進める。

そのために、「3推進体制及び役割」に記載のとおり、引き続き関係機関と連携し、高収益作物等への推進を図るとともに、必要な技術開発・普及等を行っていく。

2. 目標

(1) 推進方針

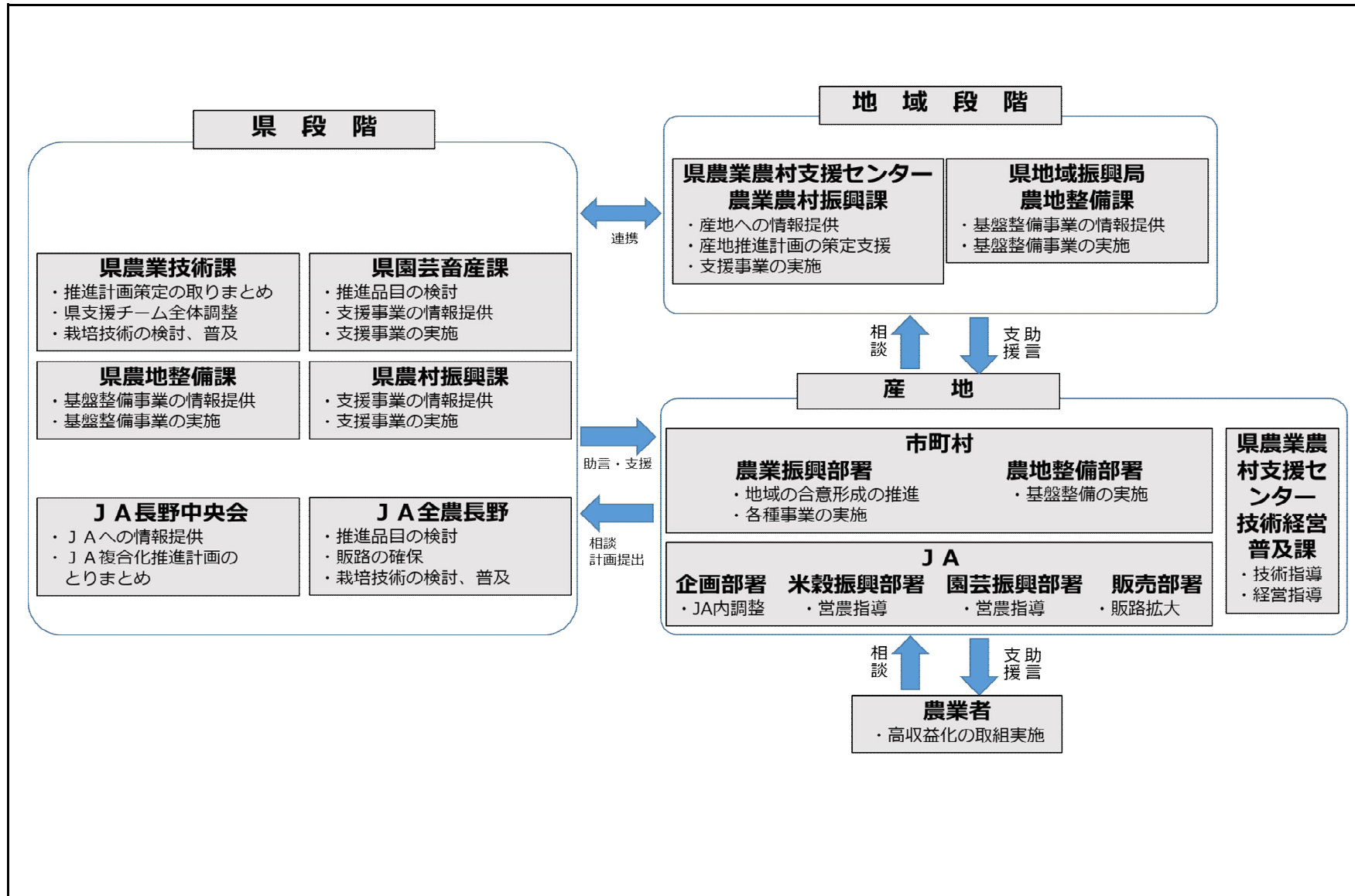
安定した所得を確保するため、当面は2の(2)に記載した品目を推進品目として位置付けて生産を推進するため、販売団体及び実需者と連携を密にするとともに、排水対策や品目や土質に応じた基盤整備などの取組を推進し、生産性の向上を図る。また、市町村等段階での水田農業高収益化推進プロジェクトチームの設置等により、更なる産地の創出を図る。

(2) 推進品目

品目名	用途	露地／施設	選定理由	目標									
				作付面積の拡大		収量の向上		販売額の向上		その他			
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値		
ねぎ	生食用 加工・業務用	露地	機械化一貫体系の導入が可能であり、葉洋菜産地における輪作品目及び水田地帯における転作品目として、集落営農組織等へ導入推進を図っているため。(収量目標は推進地区の数値で管理)	730 ha (令和4年)	794 ha (令和9年)	3,227 kg/10a (令和4年)	3,298 kg/10a (令和9年)	35億円 (令和4年)	38億円 (令和9年)			(令和3年)	(令和8年)
アスパラガス	生食用	露地	半年生作物であり、水田との輪作が想定されないことから、畑地化により生産性向上を図るため。(目標は推進地区の数値で管理)	3.4 ha (令和3年)	3.9 ha (令和8年)	700 kg/10a (令和3年)	707 kg/10a (令和8年)	2,618万円 (令和3年)	3,090万円 (令和8年)			(令和3年)	(令和8年)
レタス	生食用	露地	葉洋菜産地における水田からの転作・輪作品目として、大規模法人等へ導入を図っていく。(目標は推進地区の数値で管理)	28 ha (令和4年)	33 ha (令和9年)	4,000 kg/10a (令和4年)	4,000 kg/10a (令和9年)	3.3億円 (令和4年)	3.8億円 (令和9年)			(令和3年)	(令和8年)
キャベツ	生食用 加工・業務用	露地	葉洋菜産地における水田からの転作・輪作品目として、大規模法人等へ導入を図っていく。(目標は推進地区の数値で管理)	15 ha (令和4年)	17 ha (令和9年)	5,600 kg/10a (令和4年)	5,600 kg/10a (令和9年)	1.7億円 (令和4年)	1.9億円 (令和9年)			(令和3年)	(令和8年)
ブロッコリー	生食用	露地	葉洋菜産地における水田からの転作・輪作品目として、大規模法人等へ導入推進を図っていく。	1,050 ha (令和2年)	1,120 ha (令和9年)	990 kg/10a (令和2年)	994 kg/10a (令和9年)	42億円 (令和2年)	44億円 (令和9年)			(令和3年)	(令和8年)
きゅうり	生食用	露地／施設	水田からの転換品目として、導入推進を図っていく。	371 ha (令和2年)	390 ha (令和9年)	3,693 kg/10a (令和2年)	3,846 kg/10a (令和9年)	39億円 (令和2年)	41億円 (令和9年)			(令和3年)	(令和8年)
セルリー	生食用	露地	葉洋菜産地における水田からの転換品目として、導入を図っていく。(目標は推進地区の数値で管理)	4.2 ha (令和4年)	4.9 ha (令和9年)	5,000 kg/10a (令和4年)	5,000 kg/10a (令和9年)	5,351万円 (令和4年)	6,266万円 (令和9年)			(令和3年)	(令和8年)
ジュース用トマト	加工・業務用	露地	水田からの転作・輪作主力品目と位置づけ、大規模法人等へ導入推進を図っていく。	111 ha (令和4年)	115 ha (令和9年)	5,600 kg/10a (令和4年)	6,500 kg/10a (令和9年)	3億円 (令和4年)	3.9億円 (令和9年)			(令和3年)	(令和8年)
スイートコーン(とうもろこし)	生食用	露地／施設	機械化が可能であり、水田地帯における転作・輪作品目として、集落営農組織等へ導入を図っていく。(目標は推進地区の数値で管理)	2 ha (令和3年)	2.4 ha (令和8年)	1,420 kg/10a (令和4年)	1,657 kg/10a (令和8年)	6,196千円 (令和3年)	8,600千円 (令和8年)			(令和3年)	(令和8年)
玉ねぎ	生食用 加工・業務用	露地	水田地帯における転作・輪作品目として、集落営農組織等へ導入を図っていく。(目標は推進地区の数値で管理)	41 ha (令和3年)	42 ha (令和8年)	4,000 kg/10a (令和3年)	4,000 kg/10a (令和8年)	1.65億円 (令和3年)	1.68億円 (令和8年)			(令和3年)	(令和8年)
りんご	生食用	露地	市場等から要望の高い県オリジナル品種(秋映、シナノスイート、シナノゴールド等)の栽培を推進し、市場シェアの拡大を図る。(目標は推進地区の数値で管理)	31 ha (令和4年)	32 ha (令和9年)	3,900 kg/10a (令和4年)	3,800 kg/10a (令和8年)	3.5億円 (令和4年)	3.52億円 (令和8年)			(令和3年)	(令和8年)
ぶどう	生食用 加工・業務用	露地 雨よけ	市場等から要望の高い無核品種(ナガノパープル、シャインマスカット、クイーンズルージュ®)の栽培を推進し、市場シェアの拡大を図る。また醸造用ぶどうはワイナリーとの連携を前提に、生産を推進する。	2,620 ha (令和3年)	2,705 ha (令和8年)	1,100 kg/10a (令和3年)	1,180 kg/10a (令和8年)	442億円 (令和3年)	443億円 (令和8年)			(令和3年)	(令和8年)
もも	生食用	露地	樹体凍害対策の徹底や優良品種の新植・改植を推進し、生産性の向上を図る。(目標は推進地区の数値で管理)	0.9 ha (令和4年)	1.0 ha (令和9年)	2,333 kg/10a (令和4年)	2,333 kg/10a (令和9年)	8,109千円 (令和4年)	9,450千円 (令和9年)			(令和3年)	(令和8年)
なし	生食用	露地	省力的栽培方法の導入支援や優良品種の新植・改植を推進し、生産性の向上を図る。(目標は推進地区の数値で管理)	0.18 ha (令和4年)	0.19 ha (令和9年)	3,133 kg/10a (令和4年)	3,167 kg/10a (令和9年)	1,693千円 (令和4年)	1,801千円 (令和9年)			(令和3年)	(令和8年)
アルストロメリア	切り花用	露地/施設	需要が高く、他品目からの転換が増加している品目であり、長期安定出荷により市場シェアの拡大を図る。一般的に、パテントの関係により、4年間は施設内に据え置き栽培。(目標は推進地区の数値で管理)	1.15 ha (令和4年)	1.26 ha (令和8年)	190,000本/10a (令和4年)	195,000本/10a (令和8年)	83,450千円 (令和4年)	107,000千円 (令和9年)			(令和3年)	(令和8年)
子実用とうもろこし	飼料用	露地	労働生産性が高く、水田地帯における転作品目として耕種農家への導入が見込まれるとともに、作付け拡大により飼料自給率の向上を図るため(一部目標は推進地区の数値で管理)	1.15 ha (令和4年)	30.0 ha (令和9年)	300 kg/10a (令和4年)	450 kg/10a (令和9年)	39千円 (令和4年)	1,800千円 (令和9年)			(令和3年)	(令和8年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。
 ※ 同一の品目であっても、用途や「露地/施設」の別が異なる場合、項目を分けて記載する。
 ※ 「選定理由」欄には、①出荷先が確保されているか、②既存産地等との競合により需給バランスに乱れが生じないか、③ロットは確保できるかなどの観点にも留意して記載する。(関係資料の添付でも可。また、審査に当たって追加資料の提出を求められることがある。)
 ※ 設定した目標値の妥当性が分かる資料(県や地域の統計など)を添付すること。

3. 推進体制及び役割



4. 目標達成に向けた取組

(1) 品目共通の取組

<ul style="list-style-type: none"> 都道府県推進計画を元に、事業説明等により、取組産地の掘り起こしを図る 県農業関係試験場と連携して排水対策等、収量向上と取組定着を図る 県推進チームは、高収益化を目指す産地に対して、的確な目標の設定について助言するとともに、この達成のために必要な総合的な支援を検討する

(2) 推進品目ごとの取組

品目名	取組内容			
	作付面積の拡大	収量の向上	販売額の向上	その他
白ネギ	葉洋菜産地における輪作品目及び水田地帯における転作品目として導入の推進	カットプレーカー等、水田転換ほ場における排水対策の実施。病害虫の適期防除(葉枯病、小菌核腐敗病、アザミウマ類、ネギハモグリバエ、ネダニ類)	早まき大苗定植盛夏出荷の推進(早期出荷の拡大)。加工・業務向け取引への対応強化。選荷・選別の徹底	機械利用による省力化(共同育苗、チェーンボット移植機、全自動移植機、掘取機・皮むき機の導入と共同化)
アスパラガス	他品目との複合化による作付拡大・新植・改植の推進	雨よけ・かん水・施設化による半促成栽培の推進。改植時の排水対策と、土づくり、土壌病害対策の徹底。茎枯病・斑点性病害の防除対策の徹底	4月期からの数量確保。出荷ピークの早期見極めと販売促進の実施。高温期の商品性向上のため、保冷体制の強化	株養成量の確保(春どりの適期打ち切り、適正な立茎、適正施肥)
レタス	5～6月及び9月の生産力を強化するための、集出荷施設等整備の支援	根腐病防除対策の徹底、湿害、干ばつ害を受けにくい土づくりの推進、優良品種の検討	産地別・時期別計画生産の徹底、適期収穫・選果選別の徹底	環境にやさしい栽培技術の推進
キャベツ	加工・業務向け優良品種導入による専用栽培の拡大、移植機の普及による省力化の推進	病害虫防除対策の徹底、湿害、干ばつ害を受けにくい土づくりの推進、優良品種の検討	小売向けや加工・業務向け契約取引への対応強化、重点顧客への安定供給	環境にやさしい栽培技術の推進
ブロッコリー	水田地帯における輪作品目、葉洋菜産地における夏ハクサイ等からの転換品目としての導入検討	病害虫防除対策の徹底、湿害、干ばつ害を受けにくい土づくりの推進、優良品種の検討	県内産地リレーによる重点市場・実需者への出荷対応強化と契約取引の拡大	環境にやさしい栽培技術の推進
きゅうり	夏秋作型から抑制作型の生産振興と、雨よけ施設化の推進	養液土耕の推進、土づくり・土壌診断に基づく適正施肥、病害虫防除の徹底、優良品種の検討	契約取引による販売先の確保、出荷規格の順守と品質維持	環境にやさしい栽培技術の推進、施設の高温対策
セルリー	基本計画に基づく時期別計画生産の徹底	高温期の生産安定、土づくりの徹底、病害虫の早期発見と育苗期からの初期防除の徹底	出荷予測に基づく事前企画提案の実施、契約取引による顧客の確保と安定価格販売	環境にやさしい栽培技術の推進
ジュース用トマト	機械化栽培体系の導入促進、集落営農組織や大規模生産法人などへの導入推進	病害虫防除対策の徹底、湿害、干ばつ害を受けにくい土づくりの推進、日焼けの発生防止	出荷規格順守による品質確保、加工会社との価格交渉	環境にやさしい栽培技術、生分解性マルチ利用の推進
スイートコーン	輪作品目及び水田転作としての導入推進、機械収穫・重量選別の導入検討	適期収穫の徹底、水田転換畑での排水対策、害虫の適期防除	早期出荷の推進、重点市場への安定供給	環境にやさしい栽培技術、生分解性マルチ利用の推進
玉ねぎ	水田転作品目としての、機械化一貫体系の推進と集落営農組織・生産法人への導入支援	害虫の早期発見と初期防除の徹底、妨害防除の徹底、水田転換畑における排水対策	重点市場への安定供給、契約による加工・業務用の取組強化	環境にやさしい栽培技術の推進
りんご	<ul style="list-style-type: none"> 現地実証ほ等を活用した栽培技術生産安定研修会の実施 気象災害被害の軽減に向けた技術者向け研修会の実施 国庫事業を活用した県オリジナル品種等への新植・改植を推進 担い手への樹園地の継承 	<ul style="list-style-type: none"> 現地実証ほ等を活用した栽培技術生産安定研修会の実施 気象災害被害の軽減に向けた技術者向け研修会の実施 国庫事業を活用した県オリジナル品種等への新植・改植を推進 担い手への樹園地の継承 	地域の販売戦略と連動した取組の実施	果樹経営基盤の強化を図るため、樹園地継承の取組を支援
ぶどう	<ul style="list-style-type: none"> 現地実証ほ等を活用した栽培技術生産安定研修会の実施 気象災害被害の軽減に向けた技術者向け研修会の実施 国庫事業を活用した県オリジナル品種等への新植・改植を推進 担い手への樹園地の継承 	<ul style="list-style-type: none"> 現地実証ほ等を活用した栽培技術生産安定研修会の実施 気象災害被害の軽減に向けた技術者向け研修会の実施 国庫事業を活用した県オリジナル品種等への新植・改植を推進 担い手への樹園地の継承 	地域の販売戦略と連動した取組の実施	果樹経営基盤の強化を図るため、樹園地継承の取組を支援
もも	優良品種の新植・改植を推進し、作付面積拡大を図る	<ul style="list-style-type: none"> 現地実証ほ等を活用した栽培技術生産安定研修会の実施 気象災害被害の軽減に向けた技術者向け研修会の実施 国庫事業を活用した県オリジナル品種等への新植・改植を推進 	地域の販売戦略と連動した取組の実施	果樹経営基盤の強化を図るため、樹園地継承の取組を支援
なし	省力栽培や優良品種の新植・改植を推進し、作付面積拡大を図る	<ul style="list-style-type: none"> 現地実証ほ等を活用した栽培技術生産安定研修会の実施 気象災害被害の軽減に向けた技術者向け研修会の実施 国庫事業を活用した県オリジナル品種等への新植・改植を推進 	地域の販売戦略と連動した取組の実施	果樹経営基盤の強化を図るため、樹園地継承の取組を支援
アルストロメリア	<ul style="list-style-type: none"> 野菜+花きにより、野菜生産者が花きに参入することによる作付面積の拡大 地域の生産および販売戦略と連動した取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 高温期の適切な株管理やチラー等を用いた地温管理による秋冬期出荷量の拡大 夏季出荷の需要に応じた適品種の導入と適正な茎葉管理の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 土作りによる欠株の減少による、収量増加 秀品率向上及び販売傾向分析からの需要が高く生産性の高い品種の導入による、販売額の増加 	効果的な保温資材の導入や多重被覆等による暖房コストの削減
子実用とうもろこし	水田地帯における転作品目として導入を図る	畜産試験場による排水対策試験の実施及び水田転換圃場における排水対策の推進	地域の販売戦略と連動した取組の実施	耕畜連携による販売先の確保

5. 産地推進計画の作成主体

No	作成主体名	関係市町村	備考
001	松本市農業再生協議会	松本市	
002	ながの農業協同組合(みゆきブロック)	飯山市	
003	信濃町農業再生協議会	信濃町	
004	原村農業再生協議会	原村	
005	富士見町農業再生協議会	富士見町	
006	佐久市農業再生協議会	佐久市	
007	辰野町農業再生協議会	辰野町	
008	飯島町農業再生協議会	飯島町	
009	安曇野市農業再生協議会	安曇野市	

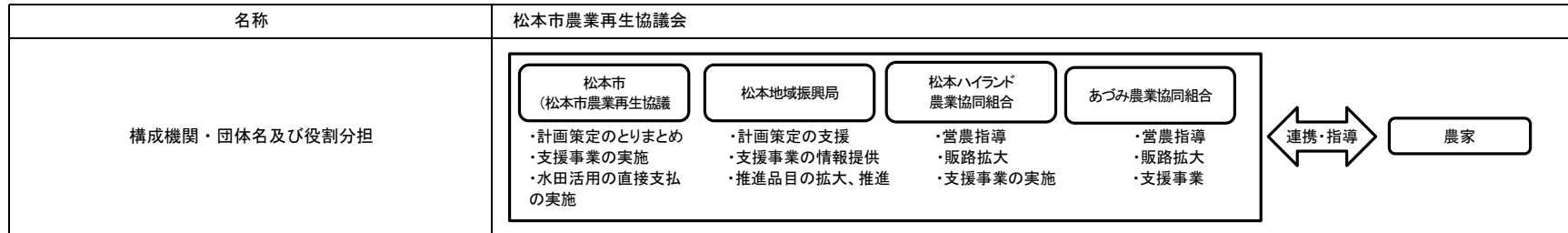
※ 各主体が作成した「産地推進計画」を添付するものとする。

(別添2)

No.	16-001 松本市農業再生協議会
策定年月	令和4年6月
見直し年月	令和5年3月

水田農業高収益化推進計画
松本市農業再生協議会産地推進計画

1 計画作成主体の情報



2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
りんご	生食用	露地	笹賀・今井 波田・里山辺	31.3637 ha (令和4年)	32.4337 ha (令和9年)	3,900 kg/10a (令和4年)	3,800 kg/10a (令和9年)	349,830,709 円 (令和4年)	352,489,451 円 (令和9年)		
ぶどう	生食用	露地	笹賀・里山辺 入山辺・芳川 今井	16.5440 ha (令和4年)	18.2012 ha (令和9年)	1,514 kg/10a (令和4年)	1,514 kg/10a (令和9年)	198,627,595 円 (令和4年)	218,523,971 円 (令和9年)		
ぶどう	加工・業務用	露地	今井	0.6983 ha (令和4年)	0.7183 ha (令和9年)	2,500 kg/10a (令和4年)	2,500 kg/10a (令和9年)	2,356,762 円 (令和4年)	2,424,262 円 (令和9年)		
もも	生食用	露地	笹賀・今井 島立	0.9076 ha (令和4年)	1.0576 ha (令和9年)	2,333 kg/10a (令和4年)	2,333 kg/10a (令和9年)	8,109,759 円 (令和4年)	9,450,068 円 (令和9年)		
ねぎ	生食用	露地	島内	2.8069 ha (令和4年)	2.9069 ha (令和9年)	4,000 kg/10a (令和4年)	4,000 kg/10a (令和9年)	32,560,040 円 (令和4年)	33,720,040 円 (令和9年)		
セルリー	生食用	露地	芳川	0.3885 ha (令和4年)	0.4000 ha (令和9年)	5,000 kg/10a (令和4年)	5,000 kg/10a (令和9年)	4,564,875 円 (令和4年)	4,700,000 円 (令和9年)		
なし	生食用	露地	今井	0.1804 ha (令和4年)	0.1904 ha (令和9年)	3,150 kg/10a (令和4年)	3,175 kg/10a (令和9年)	1,693,415 円 (令和4年)	1,801,470 円 (令和9年)		
アルストロメリア	切り花用	露地	芳川	0.2539 ha (令和4年)	0.2639 ha (令和9年)	80,000 本 (令和4年)	80,000 本 (令和9年)	12,187,200 円 (令和4年)	12,667,200 円 (令和9年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した現状値や目標値については、取組者の増減等により変動するもの。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料は、別添1・2・3のとおり。

(別添2)

No.	16-002
策定年月	令和4年5月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
ながの農業協同組合産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	ながの農業協同組合 みゆきブロック										
構成機関・団体名及び役割分担	<table border="1"><tr><td>北信農業農村支援センター</td><td>飯山市</td><td>ながの農協 みゆきブロック</td><td>飯山市農業委員会</td><td>下水内中部土地改良区</td></tr><tr><td>・計画策定のとりまとめ ・支援事業、栽培技術の情報提供 ・支援事業の実施</td><td>・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施</td><td>・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施</td><td>・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進</td><td>・基盤整備事業の情報収集 ・土地改良施設の管理</td></tr></table> <p style="text-align: center;">↓ ↑ 農家</p>	北信農業農村支援センター	飯山市	ながの農協 みゆきブロック	飯山市農業委員会	下水内中部土地改良区	・計画策定のとりまとめ ・支援事業、栽培技術の情報提供 ・支援事業の実施	・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施	・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施	・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進	・基盤整備事業の情報収集 ・土地改良施設の管理
北信農業農村支援センター	飯山市	ながの農協 みゆきブロック	飯山市農業委員会	下水内中部土地改良区							
・計画策定のとりまとめ ・支援事業、栽培技術の情報提供 ・支援事業の実施	・地域の合意形成の推進 ・支援事業の情報提供、実施	・販売先の確保 ・支援事業の実施 ・営農指導の実施	・農地情報の収集 ・農地集積・集約の推進	・基盤整備事業の情報収集 ・土地改良施設の管理							

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地 ／ 施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
白ネギ	生食用	露地	ながの農協 みゆき	0 ha (令和4年)	0.24 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和4年)	2,000 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和4年)	864,000 円 (令和8年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	16-003
策定年月	令和4年6月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画 信濃町産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	信濃町農業再生協議会			
構成機関・団体名及び役割分担	<p>長野地域振興局 長野農業農村支援センター、農地整備課 ・栽培、圃場整備指導</p>	<p>信濃町産業観光課 ・関係者間調整</p>	<p>信濃町農業再生協議会 ・水田収益力強化ビジョン作成</p>	<p>JANAがの・アグリサポート信濃町 ・栽培指導 ・販売受託 ・資材等の調達</p>

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地/ 施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
アスパラガス	生食用	露地	仁之倉地区	0 ha (令和3年)	0.3 ha (令和8年)	0 kg/10a (令和3年)	200 kg/10a (令和8年)	0 円 (令和3年)	522,000 円 (令和8年)		

「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

同一の品目であっても、用途や「露地/施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

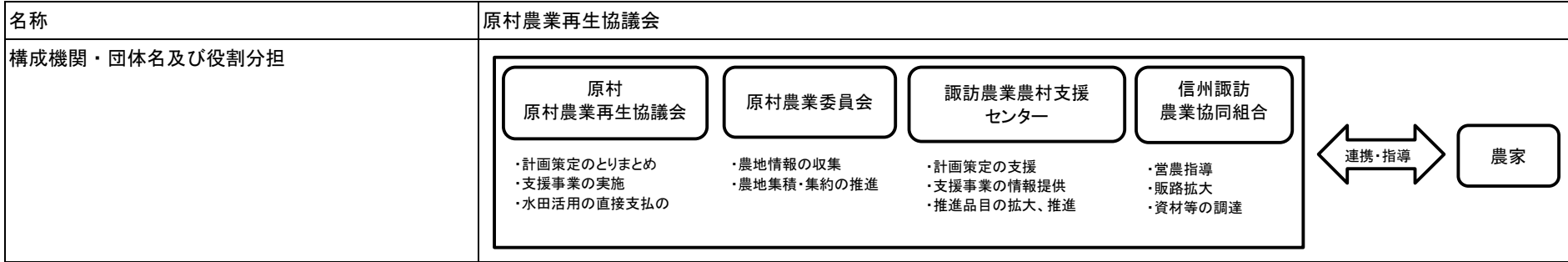
「産地名」欄に、農協、集落、学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

設定した目標値の妥当性がわかる資料(県や地域の統計など)を添付すること。

(別添2)

No.	16-004
策定年月	令和5年3月

水田農業高収益化推進計画
原村農業再生協議会産地推進計画



2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
セルリー	生食用	露地	原村農業再生協議会	3.8 ha (令和4年)	4.5 ha (令和8年)	5,000 kg/10a (令和4年)	5,000 kg/10a (令和8年)	48,944,000 円 (令和4年)	57,960,000 円 (令和8年)	(令和〇年)	(令和〇年)
ブロッコリー	生食用	露地	原村農業再生協議会	7.5 ha (令和4年)	9 ha (令和8年)	1,080 kg/10a (令和4年)	1,080 kg/10a (令和8年)	37,260,000 円 (令和4年)	44,712,000 円 (令和8年)	(令和〇年)	(令和〇年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	No. 16-005
策定年月	令和5年3月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画 富士見町地域農業再生協議会産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	富士見町地域農業再生協議会
構成機関・団体名及び役割分担	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">富士見町(富士見町地域 農業再生協議会)</div><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">諏訪農業農村支援センター</div><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">信州諏訪農業協同組合</div><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">富士見町農業委員会</div></div><div style="margin-top: 10px; display: flex; justify-content: space-between;"><div style="width: 20%;"><ul style="list-style-type: none">・計画策定の取りまとめ・支援事業の実施・水田活用の直接支払の実施</div><div style="width: 20%;"><ul style="list-style-type: none">・計画策定の支援・支援事業の情報提供・推進品目の拡大、推進</div><div style="width: 20%;"><ul style="list-style-type: none">・営農指導・販路拡大・支援事業の実施</div><div style="width: 20%;"><ul style="list-style-type: none">・農地情報の収集・農地集積・集約の推進</div></div><div style="text-align: right; margin-top: 10px;">連携・指導 農家</div></div>

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地 ／ 施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
レタス	生食用	露地	富士見町地域 農業再生協議会	28.322 ha (令和4年)	33.000 ha (令和9年)	4,000 kg/10a (令和4年)	4,000 kg/10a (令和9年)	328,535,200 円 (令和4年)	382,800,000 円 (令和9年)		
キャベツ	生食用	露地	富士見町地域 農業再生協議会	15.032 ha (令和4年)	17.000 ha (令和9年)	5,600 kg/10a (令和4年)	5,600 kg/10a (令和9年)	168,358,400 円 (令和4年)	190,400,000 円 (令和9年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	No. 16-006
策定年月	令和5年6月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
佐久市子実用トウモロコシ産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	佐久市農業再生協議会
構成機関・団体名及び役割分担	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"><p>長野県農業技術課 佐久農業農村支援センター</p><p>・ 支援事業や栽培技術等の情報提供及び栽培指導</p></div><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"><p>佐久市農業再生協議会 佐久浅間農業協同組合 佐久市役所農政課</p><p>・ 計画の作成及び取りまとめ ・ 全体の連絡調整 ・ 水田農業高収益化推進助成に係る事務 ・ 地域の合意形成の推進</p></div><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"><p>株式会社グリーンフィールド</p><p>・ 飼料の受入 ・ 飼料の調製 ・ とうもろこし需給マッチング支援</p></div></div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"><p>⇄ 連携・指</p><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">農業者</div></div>

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他（販売単価）	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
子実用トウモロコシ	飼料用	露地	佐久浅間農業協同組合	0.436 ha (令和4年)	10 ha (令和9年)	300 kg/10a (令和4年)	450 kg/10a (令和9年)	39,240 円 (令和4年)	1,800,000 円 (令和9年)	30 円/kg (令和4年)	40 円/kg (令和9年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	16-007
策定年月	令和5年3月
見直し年月	令和一年一月

水田農業高収益化推進計画
長野県辰野町産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	辰野町農業再生協議会
構成機関・団体名及び役割分担	<p>辰野町：協議会事務局として米政策や経営所得安定対策等交付金などの基本業務を行う。米の生産調整の中で生産者へ高収益作物への転換を呼び掛ける。</p> <p>上伊那農業農村支援センター：技術経営普及課辰野町担当技師を中心に、農業経営に関するコーディネートや栽培技術指導を行う。</p> <p>JA上伊那：北部営農センター辰野町担当職員による栽培技術指導の他、安定した出荷先として確立している。</p> <p>集落営農・生産者団体：農地の集積が進む中、担い手として転作に協力いただいている。</p> <p>生産者：高収益作物への転換をすすめていく。</p>

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地 ／ 施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
スイートコーン	生食用	露地 ／ 施設	辰野町一円	0.4 ha (令和4年)	0.6 ha (令和8年)	1,500 kg/10a (令和4年)	1,575 kg/10a (令和8年)	1,380,000 円 (令和4年)	2,173,500 円 (令和8年)	(令和〇年)	(令和〇年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。


※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	18-008
策定年月	令和5年3月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画
飯島町産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	飯島町農業再生協議会			
構成機関・団体名及び役割分担	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 上伊那地域振興局 上伊那農業農村支援セン </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 飯島町農業再生協議会 ・産地計画、農地利用調整 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> JA上伊那 ・販売受託、営農指導 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> (一社)地区営農組合 ・地区の農地利用調整 </div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 飯島町営農センター ・農業振興計画の企画 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 農業者 ・栽培、技術導入 </div>	

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
アスパラガス	生食用	露地	飯島・田切・七久保地区	3.4 ha (令和4年)	3.6 ha (令和8年)	700 kg/10a (令和4年)	750 kg/10a (令和8年)	26,180,000 円 (令和4年)	30,375,000 円 (令和8年)	(令和4年)	(令和8年)
きゅうり	生食用	施設	飯島・本郷地区	0.8 ha (令和4年)	1.0 ha (令和8年)	10000 kg/10a (令和4年)	12000 kg/10a (令和8年)	20,800,000 円 (令和4年)	33,600,000 円 (令和8年)	(令和4年)	(令和8年)
ねぎ	生食用/ 加工・業務用	露地	飯島・田切・本郷地区	5.6 ha (令和4年)	5.8 ha (令和8年)	2900 kg/10a (令和4年)	3000 kg/10a (令和8年)	50,993,600 円 (令和4年)	58,290,000 円 (令和8年)	(令和4年)	(令和8年)
とうもろこし	生食用	露地	飯島・田切・七久保地区	1.6 ha (令和4年)	1.8 ha (令和8年)	1400 kg/10a (令和4年)	1500 kg/10a (令和8年)	4,816,000 円 (令和4年)	6,426,000 円 (令和8年)	(令和4年)	(令和8年)
ブロッコリー	生食用	露地	飯島地区	0.3 ha (令和4年)	0.4 ha (令和8年)	1000 kg/10a (令和4年)	1080 kg/10a (令和8年)	1,350,000 円 (令和4年)	2,112,480 円 (令和8年)	(令和4年)	(令和8年)
ぶどう	生食用	露地	飯島地区	0.1 ha (令和4年)	0.3 ha (令和8年)	1500 kg/10a (令和4年)	1600 kg/10a (令和8年)	1,950,000 円 (令和4年)	7,617,600 円 (令和8年)	(令和4年)	(令和8年)
アルストロメリア	切り花用	施設	飯島、七久保地区	0.9 ha (令和4年)	1.0 ha (令和8年)	110000 本/10a (令和4年)	115000 本/10a (令和8年)	71,280,000 円 (令和4年)	94,300,000 円 (令和8年)	(令和4年)	(令和8年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。

(別添2)

No.	18-009
策定年月	令和5年3月
見直し年月	

水田農業高収益化推進計画 安曇野市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	安曇野市農業再生協議会
構成機関・団体名及び役割分担	安曇野市農業再生協議会：水田活用の直接支払交付金の活用推進、営農計画書・交付申請・計画策定の取りまとめ 安曇野市農業委員会事務局：農地情報の収集、農地集積・集約の推進 あづみ農業協同組合：技術・機械等の導入支援、販売先の確保・拡大、担い手確保・育成 松本ハイランド農業協同組合：技術・機械等の導入支援、販売先の確保・拡大、担い手確保・育成

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地 ／ 施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
たまねぎ	生食用/ 加工・業務用	露地	安曇野市	4.1 ha (令和4年)	4.2 ha (令和8年)	4千 kg/10a (令和4年)	4千 kg/10a (令和8年)	165百万円 (令和4年)	168百万円 (令和8年)	(令和4年)	(令和8年)
ジュース用トマト	加工・業務用	露地	安曇野市	2.1 ha (令和4年)	2.8 ha (令和8年)	7千 kg/10a (令和4年)	7千 kg/10a (令和8年)	79百万円 (令和4年)	103百万円 (令和8年)	(令和4年)	(令和8年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。